

宮崎大学 Capa+ (キャパタス)



事業内容

産業人財育成プラットフォーム関係

- ・インターンシップ参加企業支援
- ・企業と学生の交流機会創出

高等教育コンソーシアム宮崎関係

- ・公募卒論 など

活動エリア

宮崎県内

活動実績

学生 : 92名

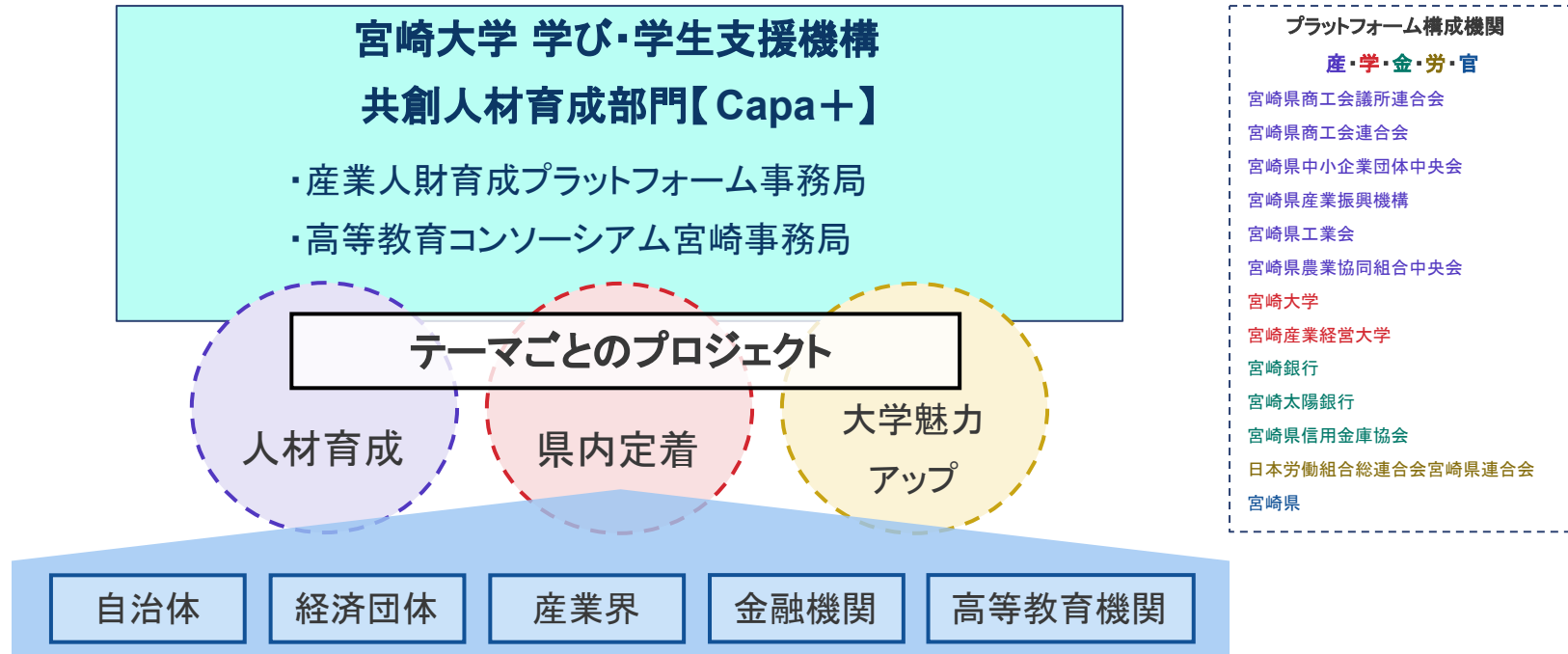
企業 : 50社

自治体 : 3

高等教育機関 : 10

※インターンシップ(マッチングに至ったもの)に係る実績で、学生及び企業は延べ数

宮崎の産学金労官が一体となり人材の育成・確保に取り組む「産業人財育成プラットフォーム」と県内高等教育機関が相互に連携・協力し魅力ある高等教育づくり・活力ある地域づくりを目指す「高等教育コンソーシアム宮崎」、2つの事務局を担い、多様な事業を推進。



ポイント

- ◆ 宮崎大学がプラットフォーム事務局として県のコーディネート機能を担っている
- ◆ プラットフォーム構成機関や県内高等教育機関を中心に各事業で連携(情報発信、事業への参画、意見交換 等)
- ◆ 地域の「知の拠点」として、地域に根ざした事業を展開
- ◆ 県内で活躍するコーディネーターの育成も実施

株式会社東海



トロピカルフルーツの本場・タイに出店するのが夢!キッチンカーで宮崎から世界へ～新規農園カフェ事業を軌道に乗せるミッションに挑め!!

<https://www.project-index.jp/intern/25711>

企業

もともとは飲食業とはかけ離れた造園建設業の会社。新しい業態で挑戦したい2代目社長の願いは、①社会変化に対応できる柔軟な企業になる。②「景観」「農業」「観光」を掛け合わせ、自慢のマンゴーやライチを販売展開すること。

人材

40年以上続く造園建設であり、業態などから男性社会の古い気質がないわけではない。また、メンバーが固定されており、チームワークの強みがある一方、若く新しい感性が不足気味と言える。

CD

農業県である宮崎には、熱意ある農業経営者が多い。しかし、その魅力や経営手法を大学で学生に伝える機会は少なく、新卒採用が毎年あるわけではない企業では、ますます若者と接点を持ちづらい状況。これを解消する一助はないだろうか。

実践型 インターンシップ (3か月)

◆参加学生2名

宮崎大学工学部2年

宮崎大学農学部2年



どうしたら商品の魅力を最大限伝えられるか、どんな人に届けば生産者は幸せなのかを企業・学生双方が考え続けた。2か月目辺りから「ちょっと言い過ぎたかも」というほど意見を出し合い、新しい価値観が生まれそれをキッチンカーで体現できた。



当初、大学生との関わり方は手探りで、これくらいいいかと接した時期もあった。しかし、学生ののめり込みに引っ張られる形で、社長も社内も口と手を出し協働することが増え、お互いを理解しながら普段できない経験を積むことができた。



最終的には宮崎大学の学祭でキッチンカーを出店するに至った本プロジェクト。CDは彼らが力を出せる環境を整えたのみで成果はおのずと出た。その後、CPとしてこの取組を産学金労官の会議等で共有し、横展開を図れたことが最大の収穫と言える。